

# 令和2年度 市の 決算概要

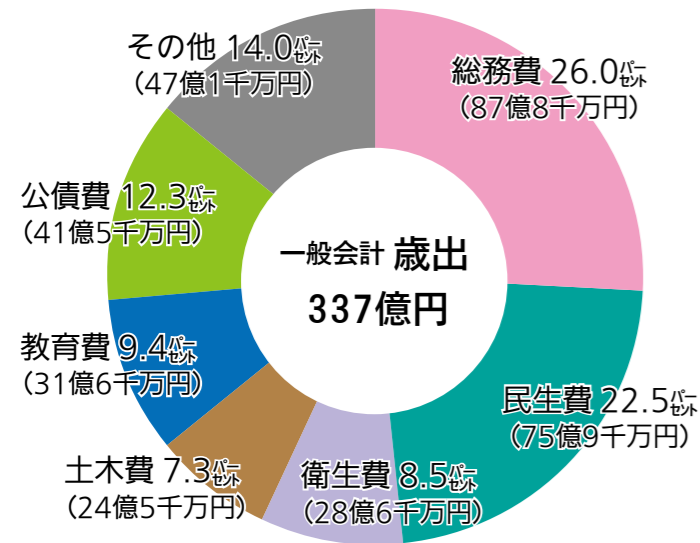
令和2年度の市の決算概要をお知らせします。  
一般会計に特別会計と企業会計を合わせた、市の歳入総額は540億4,943万円で、歳出総額は536億7,492万円でした。歳入と歳出を差し引くと、3億7,450万円の黒字となりました。

問 財務課 ☎26-2111 (内線336)

## 一般会計 歳出

令和2年度の歳出額は

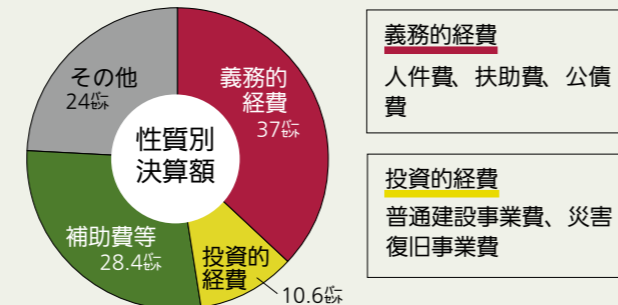
一般会計の歳出は、下図の通りです。歳出額は、前年度と比べて約60億円増の約337億円でした。



特別定額給付金事業や職員管理などの総務費が全体の26%、福祉事業やこども園の運営、子育てのための手当などの民生費が約22%、市の借金返済のための公債費が約12%です。

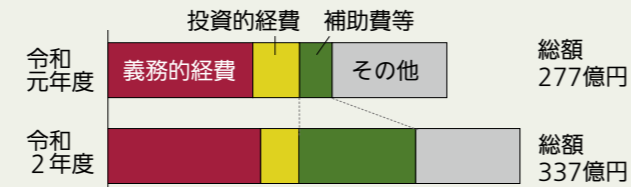
### 性質別の歳出内訳

歳出を異なる視点（性質別）で見ると、人件費などの支出が義務付けられている義務的経費が37%、施設や道路などの社会資本を整備する投資的経費が10.6%、市からの補助金などの補助費等が28.4%となっています。



### 特別定額給付金により補助費が増加

前年度と比べると補助費等が大幅に増えていますが、主に、1人10万円の給付を行った特別定額給付金事業によるものです。



## 特別会計

特定の目的や収入がある事業を、一般会計と区別して特別会計といいます。特別会計には、右の5事業があります。

	歳入	歳出	差引額
国民健康保険事業	51億9,782万円	51億 156万円	9,627万円
介護保険事業	59億4,451万円	58億5,260万円	9,190万円
遠山財産区	30万円	23万円	7万円
上財産区	90万円	63万円	27万円
後期高齢者医療	7億5,764万円	7億4,287万円	1,477万円

## 企業会計

事業ごとに収益を上げて運営していくものを企業会計といいます。民間企業のように会計処理しています。

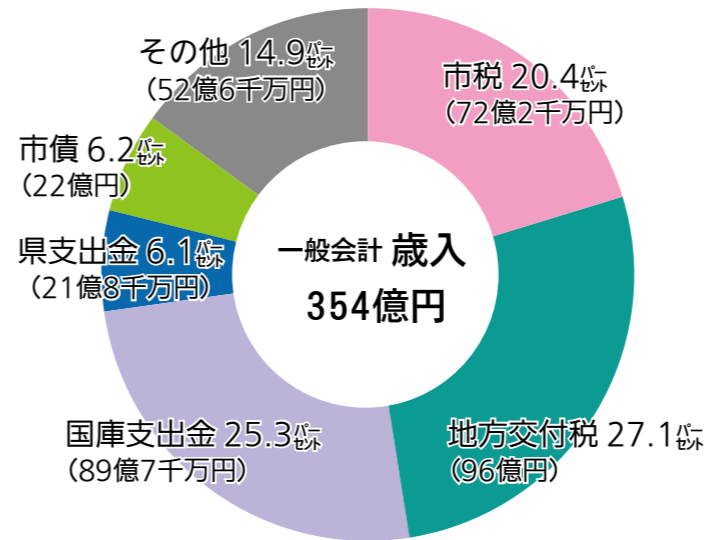
	収益的収支		資本的収支	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	17億1,176万円	16億3,665万円	2億7,986万円	9億7,941万円
下水道事業	19億9,689万円	19億4,376万円	2億8,448万円	8億3,408万円
病院事業	13億7,322万円	17億6,868万円	5億6,287万円	5億8,800万円
国民健康保険診療所事業	4億8,100万円	4億8,467万円	2,777万円	4,151万円

※端数処理のため合計が合わない場合があります

## 一般会計 歳入

令和2年度の歳入額は

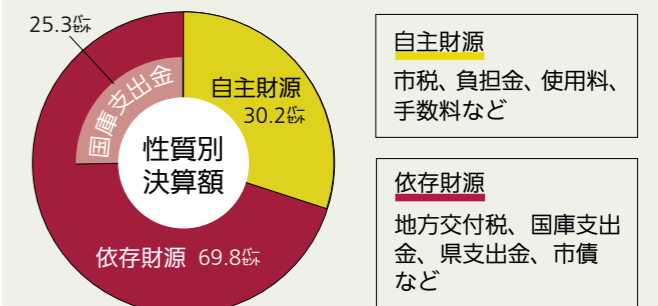
一般会計の歳入は、下図の通りです。歳入額は、前年度と比べて約63億円増の約354億円でした。



市民税、固定資産税などの市税が全体の約20%、国から交付される地方交付税が27%、国や県からの国庫支出金・県支出金が約25%となっています。市の借金である市債は、約6%です。

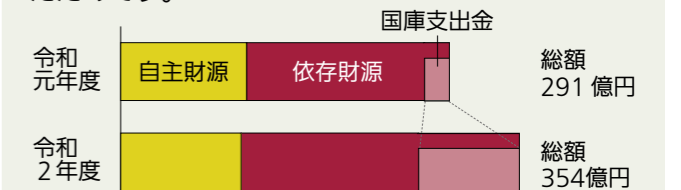
### 性質別の歳入内訳

歳入を異なる視点（性質別）で見ると、市が調達する自主財源が30.2%、国や県からの補助金、交付金などによる依存財源が69.8%となっています。



### 特別定額給付金などにより依存財源が増加

前年度と比べると、依存財源は、8.4ポイント増えています。これは、1人10万円の給付を行った特別定額給付金事業や、新型コロナウイルス感染症対策のための臨時交付金などで、国庫支出金が増えたためです。



### 基金

市の貯金は、約39万円/人

市の貯金にあたる「基金」は一般会計に21種類あり、残高は190億5,200万円。市民1人当たり換算すると、約39万円です。

積立額が最も大きかったのは公共施設整備基金で約2億5千万円でした。この基金は、施設や道路などの大規模な更新、修繕などを行う際の財源として活用します。

※令和3年3月末人口で換算

### 市債

市の借金は、約85万円/人

市の借金にあたる「市債」は、家計でいう「ローン」のように、施設や道路の整備などで多額の費用が必要な場合に、長期に分割払いするものです。

市債は、一般会計、特別会計、企業会計を合わせて416億43万円。前年度と比べて28億1,064万円の減額となりました。市民1人当たり換算すると約85万円です。

※令和3年3月末人口で換算